

南九州地域におけるインバウンド観光客の意向調査

～DBJ・JTBF訪日外国人旅行者の意向調査(2018年度版)～

<要旨>

1. 当行は、2012年より継続的に「アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査」を公表し、2015年からは（公財）日本交通公社と共同で本調査を実施している。
2. 南九州地域（「鹿児島」および「宮崎」）への訪問経験者の属性をみると、40～50代の比率が過半を占め、「香港」、「台湾」の割合が高い。年収別にみると、訪日経験者全体の平均所得をやや上回る。
3. 認知度は、過半に達する人気観光地と比べると依然伸びしろがあるものの、九州の中では「長崎」、「福岡」に次ぐ水準。アジア、特に「香港」、「台湾」での認知度が高い。
4. 訪問意欲は、人気観光地と比べると高くないものの、アジア、特に「香港」、「台湾」での訪問意欲は一定の水準。「認知度（知っている）」と「訪問意欲（行ってみたい）」の間のギャップを埋めるマーケティング活動や情報発信が（さらに）望まれる。
5. その他について分析すると、①訪日旅行のヘビーリピーターが多い、②FIT化が進んでいる、③全国周遊か九州往訪の一環としての訪問が多い。

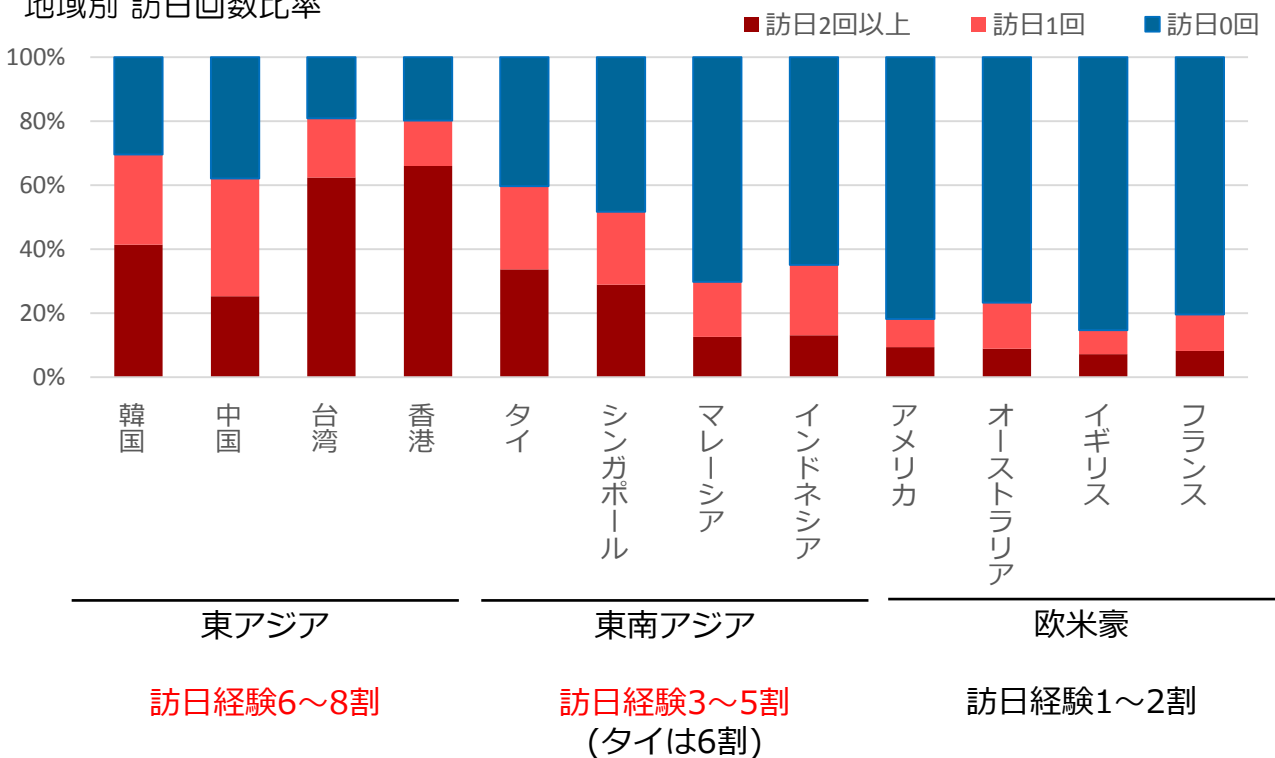
1. DBJ・JTBF 訪日外国人旅行者の意向調査（2018年度版）概要

- (株)日本政策投資銀行では、2012年より年1回「訪日外国人旅行者の意向調査」を実施している（2015年より(公財)日本交通公社(JTBF)と共同）。
- 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2018年度版）」として、当行ホームページにて全国版を公表（2018年11月）。

調査の概要・回答者属性

- 実施時期：2018年6月25日～2018年7月6日
2018年10月5日～2018年10月19日（災害に関する追加調査）
- 調査方法：インターネットによる調査
- 調査地域：[東アジア] 韓国、中国、台湾、香港、
[東南アジア] タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、
[欧米豪(※)] アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス（※）
2016調査より
- 調査対象：20歳～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者
- 回答者数：上記地域に居住する合計6,283人（但し、追加調査は6,286人）
- 協力会社：楽天リサーチ株式会社
 - ・中国は北京および上海在住者のみ
 - ・中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行については、海外旅行経験から除く
 - ・回答者数は各地域で500人以上(中国は北京、上海で各50%)、男女比も概ね50%

地域別 訪日回数比率

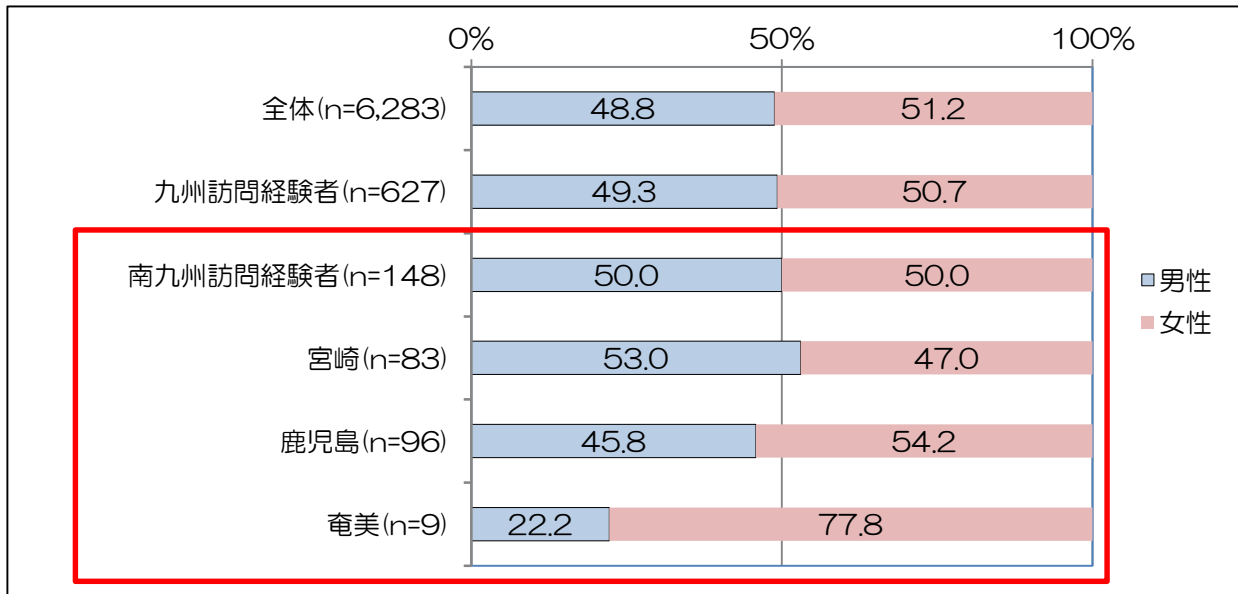


2. 南九州地域訪問経験者の属性

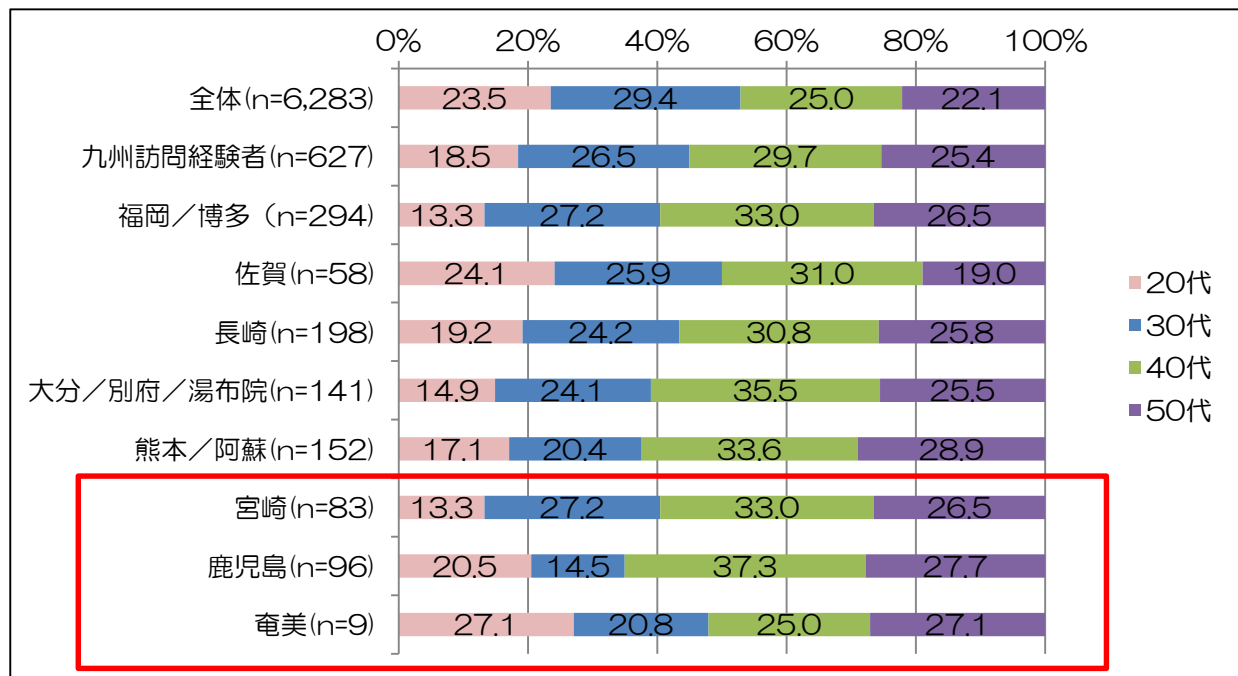
南九州地域（「鹿児島」、「宮崎」）への訪問経験者は、

- 性別割合においては、有意な差はみられない。
- 年代割合にみると、40 - 50代が過半を占めている。
- 国・地域別にみると、「香港」「台湾」の割合が高い。
- 年収別にみると、訪日経験者全体の平均593万円、九州旅行経験者の平均620万円をやや上回る。所得分布は二極化。

図表1 性別割合



図表2 年代割合



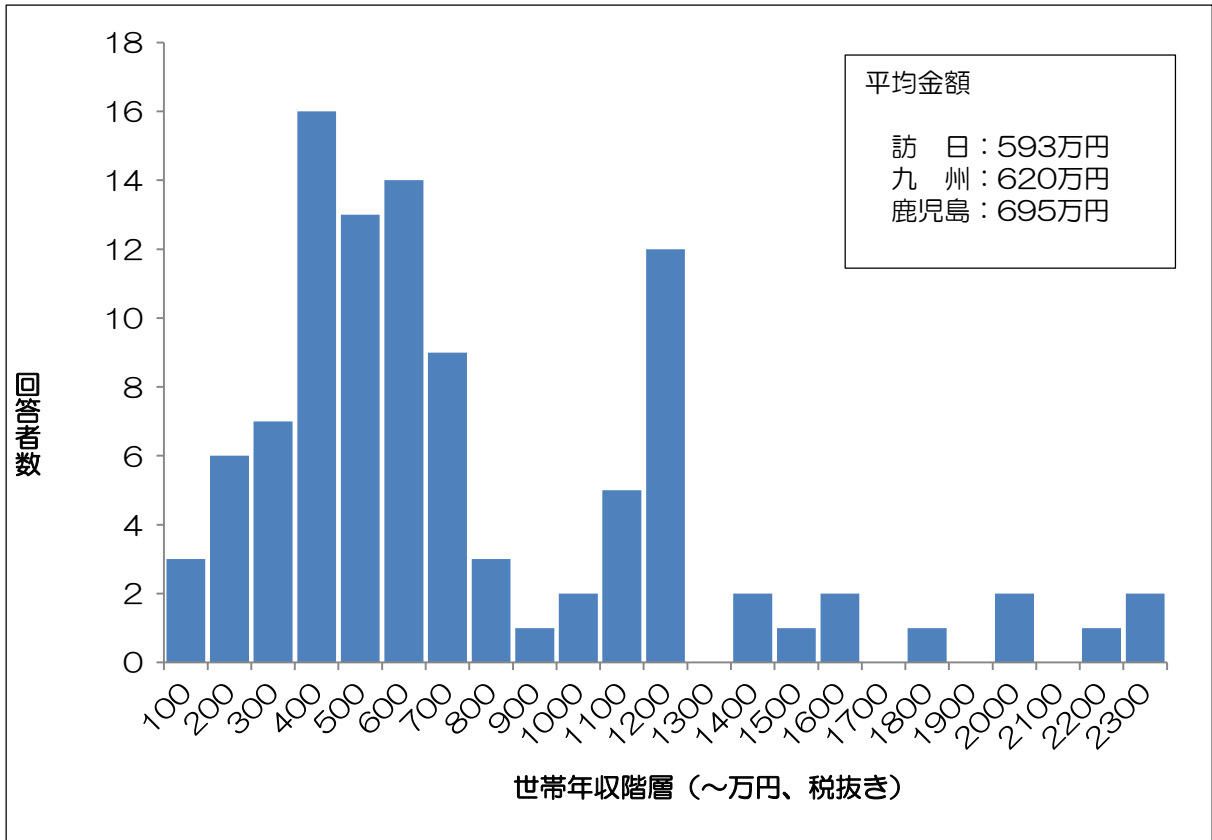
※「奄美」はサンプル数が少ないため参考値

図表3 国・地域別割合

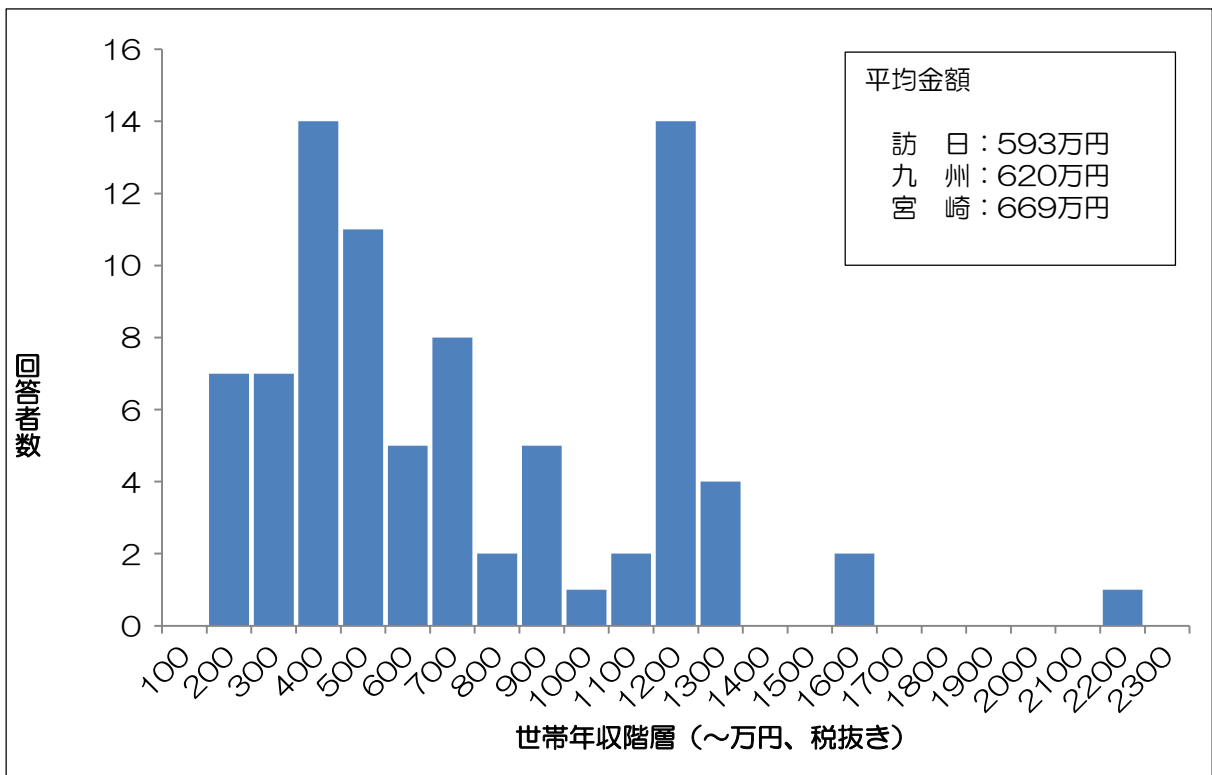
	n	中国	台湾	香港	韓国	タイ	ネイシンアド	シマアレー	ポシールガ	スイギリ	カアメリ	スフラン	アトオリリス
全体	6,283 100.0	544 8.7	502 8.0	500 8.0	536 8.5	516 8.2	512 8.1	506 8.1	518 8.2	538 8.6	532 8.5	544 8.7	535 8.5
九州訪問経験者	627 100.0	68 10.8	104 16.6	130 20.7	121 19.3	65 10.4	37 5.9	21 3.3	36 5.7	7 1.1	7 1.1	12 1.9	19 3.0
福岡/博多	294 100.0	24 8.2	69 23.5	62 21.1	74 25.2	23 7.8	10 3.4	5 1.7	20 6.8	2 0.7	1 0.3	2 0.7	2 0.7
佐賀	58 100.0	4 6.9	18 31.0	11 19.0	6 10.3	7 12.1	1 1.7	3 5.2	4 6.9	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7
長崎	198 100.0	17 8.6	35 17.7	34 17.2	20 10.1	25 12.6	22 11.1	8 4.0	16 8.1	2 1.0	4 2.0	8 4.0	7 3.5
大分/別府/湯布院	141 100.0	4 2.8	39 27.7	39 27.7	38 27.0	3 2.1	1 0.7	2 1.4	8 5.7	1 0.7	0 0.0	2 1.4	4 2.8
熊本/阿蘇	152 100.0	9 5.9	49 32.2	67 44.1	12 7.9	1 0.7	1 0.7	2 1.3	6 3.9	1 0.7	1 0.7	1 0.7	2 1.3
宮崎	83 100.0	8 9.6	15 18.1	31 37.3	9 10.8	6 7.2	1 1.2	4 4.8	2 2.4	0 0.0	0 0.0	4 4.8	3 3.6
鹿児島	96 100.0	16 16.7	18 18.8	41 42.7	3 3.1	1 1.0	4 4.2	3 3.1	5 5.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 5.2
奄美	9 100.0	2 22.2	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0
首都圏訪問経験者	1806 100.0	188 10.4	272 15.1	271 15.0	181 10.0	226 12.5	127 7.0	84 4.7	183 10.1	53 2.9	56 3.1	68 3.8	97 5.4
北海道訪問経験者	918 100.0	136 14.8	162 17.6	157 17.1	72 7.8	129 14.1	58 6.3	50 5.4	86 9.4	15 1.6	15 1.6	21 2.3	17 1.9
東北訪問経験者	343 100.0	48 14.0	53 15.5	49 14.3	33 9.6	47 13.7	33 9.6	11 3.2	18 5.2	7 2.0	11 3.2	19 5.5	14 4.1
新潟訪問経験者	72 100.0	13 18.1	11 15.3	9 12.5	1 1.4	6 8.3	13 18.1	4 5.6	4 5.6	4 5.6	2 2.8	2 2.8	3 4.2
北関東甲信訪問経験者	1032 100.0	171 16.6	129 12.5	157 15.2	36 3.5	167 16.2	77 7.5	56 5.4	105 10.2	28 2.7	29 2.8	37 3.6	40 3.9
北陸訪問経験者	265 100.0	44 16.6	68 25.7	61 23.0	6 2.3	18 6.8	19 7.2	9 3.4	13 4.9	7 2.6	6 2.3	8 3.0	6 2.3
東海訪問経験者	1184 100.0	184 15.5	154 13.0	185 15.6	69 5.8	176 14.9	95 8.0	62 5.2	112 9.5	29 2.4	31 2.6	40 3.4	47 4.0
関西訪問経験者	1544 100.0	163 10.6	242 15.7	253 16.4	197 12.8	148 9.6	92 6.0	91 5.9	145 9.4	32 2.1	46 3.0	59 3.8	76 4.9
中国訪問経験者	328 100.0	38 11.6	33 10.1	44 13.4	28 8.5	32 9.8	27 8.2	14 4.3	25 7.6	18 5.5	15 4.6	19 5.8	35 10.7
四国訪問経験者	156 100.0	23 14.7	23 14.7	23 14.7	11 7.1	17 10.9	9 5.8	5 3.2	12 7.7	6 3.8	8 5.1	13 8.3	6 3.8
沖縄訪問経験者	346 100.0	20 5.8	112 32.4	77 22.3	47 13.6	22 6.4	19 5.5	11 3.2	13 3.8	6 1.7	9 2.6	3 0.9	7 2.0

※「奄美」はサンプル数が少ないため参考値

図表4 鹿児島訪問経験者の平均年収



図表5 宮崎訪問経験者の平均年収



3. 南九州地域の認知度

- 認知度は、過半に達する人気観光地と比べると、依然伸びしろがある。
- 九州の中では「長崎」、「福岡」につぐ水準。
- アジア、特に「香港」、「台湾」での認知度が高い。

図表6 訪日希望者のうち、九州・南九州地域・国内主要観光地の認知度

2018	アジア全体 n=2266	韓国 n=165	中国 n=260	台湾 n=366	香港 n=375	タイ n=277	シンガポール n=291	マレーシア n=263	インドネシア n=269
九州	44%	64%	38%	68%	63%	36%	33%	24%	19%
福岡	39%	60%	29%	61%	54%	31%	26%	22%	24%
佐賀/唐津	16%	11%	16%	40%	28%	8%	4%	3%	4%
長崎	43%	50%	34%	58%	53%	41%	34%	32%	39%
大分/別府/湯布院	15%	40%	8%	28%	30%	7%	3%	3%	3%
熊本/阿蘇	27%	28%	28%	58%	59%	7%	6%	6%	3%
宮崎	26%	32%	30%	45%	51%	16%	8%	12%	5%
鹿児島	32%	33%	38%	63%	66%	6%	13%	8%	7%
東京	75%	73%	59%	83%	77%	75%	82%	75%	71%
京都	67%	75%	57%	80%	73%	62%	68%	57%	59%
大阪	70%	77%	55%	82%	77%	59%	75%	67%	61%
北海道	69%	68%	54%	83%	77%	61%	75%	69%	54%
沖縄	57%	65%	47%	77%	72%	45%	56%	46%	42%

2018	欧米豪全体 n=741	アメリカ n=154	オーストラリア n=230	イギリス n=191	フランス n=166	全訪日希望者 n=3007
九州	11%	10%	15%	10%	9%	36%
福岡/博多	13%	12%	20%	12%	7%	33%
佐賀/唐津	5%	1%	9%	5%	4%	13%
長崎	43%	38%	51%	43%	38%	43%
大分/別府/湯布院	3%	4%	3%	1%	2%	12%
熊本/阿蘇	2%	4%	3%	2%	1%	21%
宮崎	7%	6%	8%	3%	10%	21%
鹿児島	7%	3%	9%	9%	4%	26%
東京	75%	76%	83%	77%	60%	75%
京都	57%	53%	61%	54%	59%	64%
大阪	57%	46%	68%	56%	51%	67%
北海道	33%	32%	41%	31%	27%	60%
沖縄	40%	51%	43%	34%	33%	53%

4. 南九州地域への訪問意欲

- 訪問意欲は、他の人気観光地と比べると、高くない。
- アジア、特に「香港」、「台湾」での訪問意欲は、「鹿児島」において高く、「宮崎」でも相応の水準。
- 「認知度（知っている）」と「訪問意欲（行ってみたい）」の間のギャップを埋めるマーケティング活動や情報発信が（さらに）望まれる。

図表7 訪日希望者のうち、国内観光地への訪問意欲

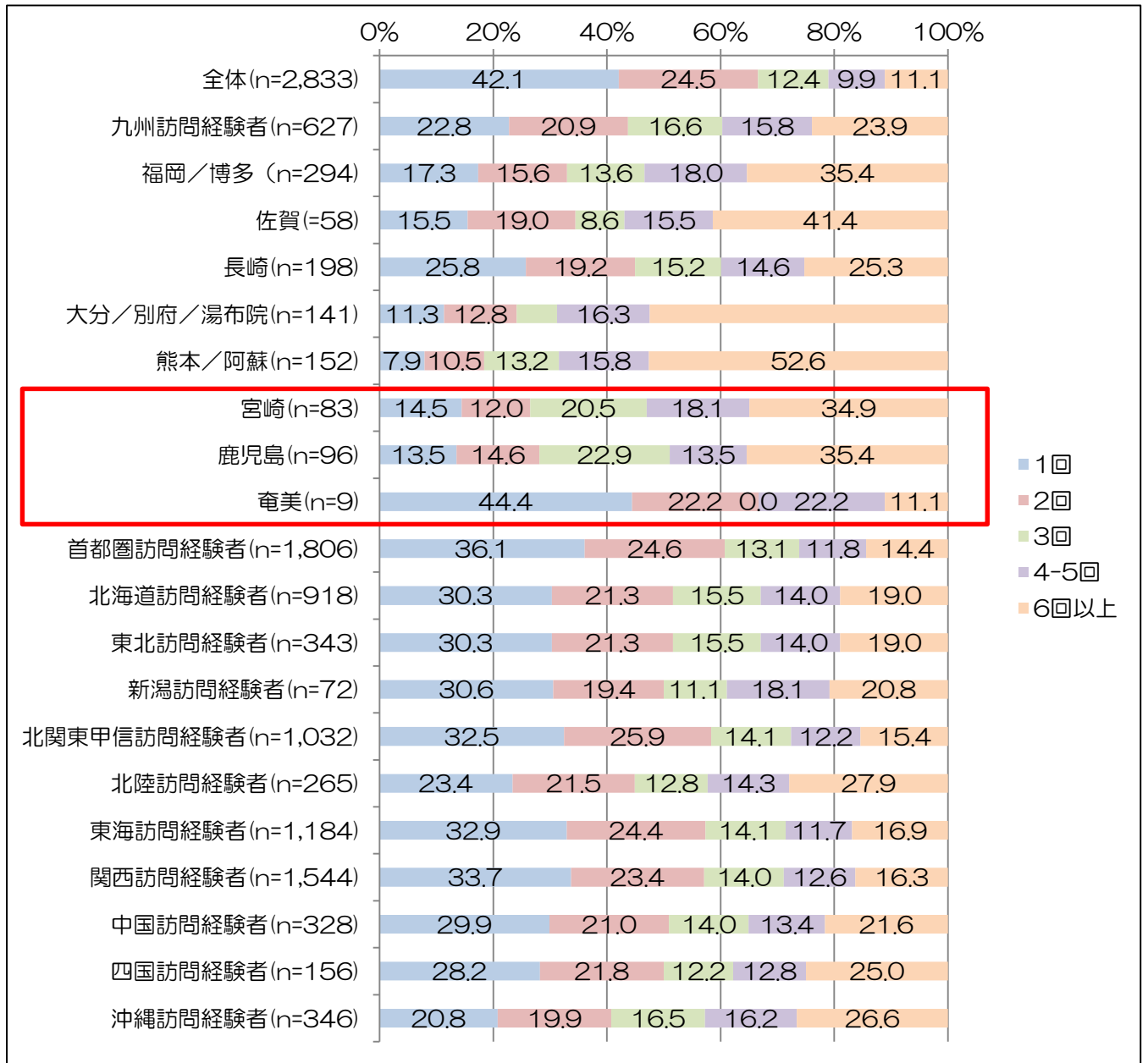
2018	アジア全体 n=2214	韓国 n=159	中国 n=260	台湾 n=363	香港 n=372	タイ n=273	シンガポール n=281	マレーシア n=249	インドネシア n=257
九州	17%	21%	13%	26%	25%	16%	14%	9%	7%
福岡	14%	25%	9%	22%	19%	12%	9%	7%	7%
佐賀/唐津	4%	2%	4%	10%	6%	4%	1%	1%	1%
長崎	13%	15%	10%	15%	15%	15%	10%	10%	14%
大分/別府/湯布院	6%	16%	3%	11%	10%	3%	1%	1%	0%
熊本/阿蘇	10%	7%	8%	23%	24%	2%	2%	3%	0%
宮崎	7%	6%	10%	12%	14%	4%	2%	3%	1%
鹿児島	12%	8%	15%	25%	28%	2%	3%	3%	1%
東京	53%	52%	42%	50%	41%	59%	61%	60%	60%
京都	42%	48%	41%	52%	42%	40%	44%	35%	37%
大阪	45%	43%	37%	48%	47%	41%	48%	51%	42%
北海道	48%	42%	34%	56%	56%	41%	63%	57%	30%
沖縄	31%	37%	22%	44%	40%	23%	33%	23%	18%

2018	欧米豪全体 n=672	アメリカ n=145	オーストラリア n=216	イギリス n=175	フランス n=136	全訪日希望者 n=2886
九州	4%	2%	4%	4%	5%	14%
福岡/博多	3%	2%	5%	3%	3%	12%
佐賀/唐津	1%	1%	1%	1%	0%	3%
長崎	18%	18%	18%	21%	14%	14%
大分/別府/湯布院	1%	1%	2%	1%	1%	5%
熊本/阿蘇	0%	1%	0%	0%	1%	8%
宮崎	1%	0%	2%	0%	4%	6%
鹿児島	2%	2%	2%	2%	1%	10%
東京	74%	72%	81%	75%	65%	58%
京都	44%	37%	45%	39%	57%	43%
大阪	39%	30%	49%	30%	42%	43%
北海道	20%	24%	21%	15%	18%	42%
沖縄	23%	30%	22%	17%	24%	29%

5. その他（経験回数別）

- 訪問経験者を経験回数別にみると、「宮崎」、「鹿児島」ともに① 6回目以上の割合が最も高く、また② 3回目以上が過半を占めており、訪日旅行のヘビーリピーターが多い。

図表8 （訪問地別）訪日経験回数

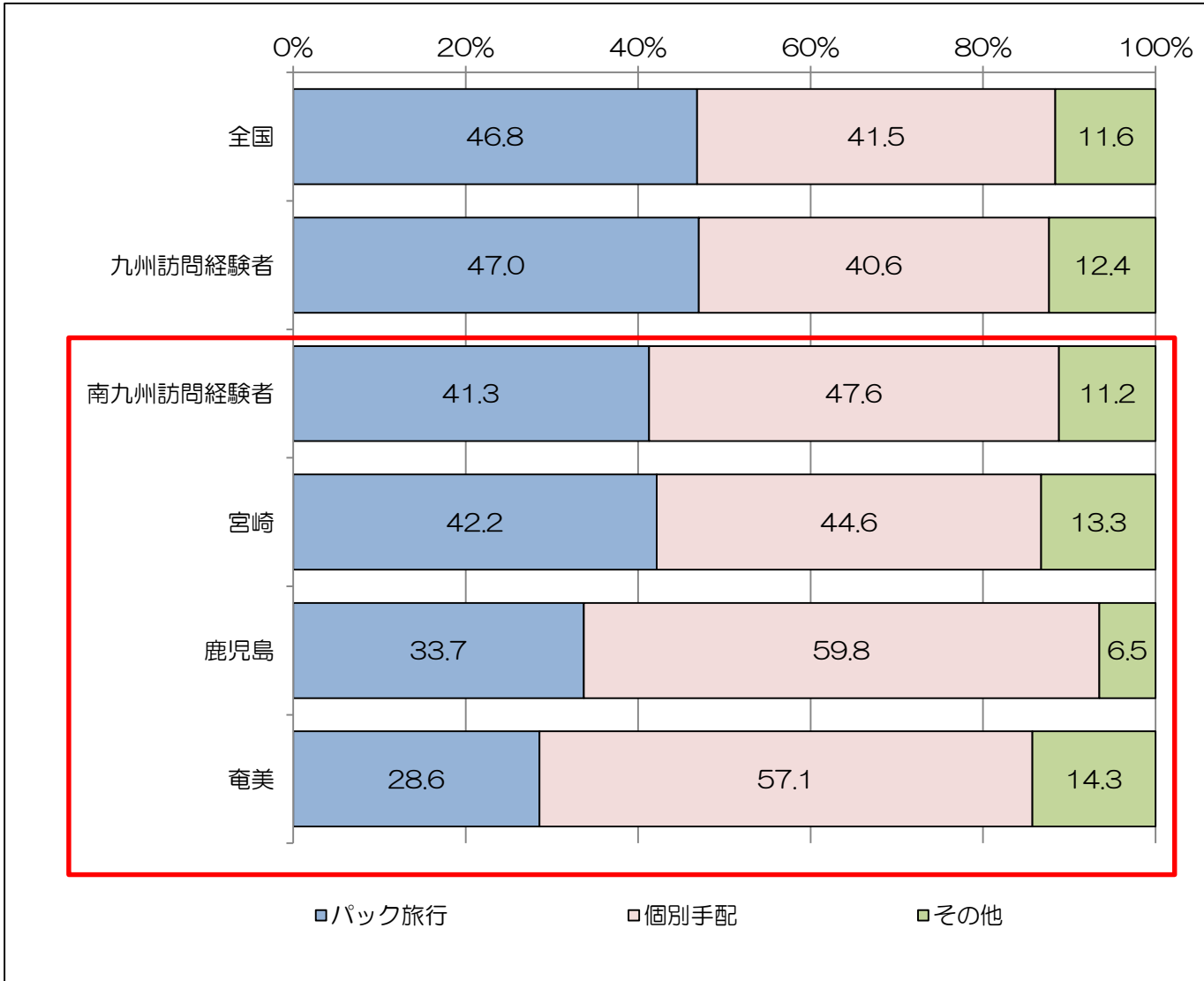


※「奄美」はサンプル数が少ないため参考値

5. その他（旅行形態）

- 旅行形態は、「宮崎」、「鹿児島」ともに、「個別手配」型が「パック旅行」型を上回っており、FIT化が進んでいる。
- 特に「鹿児島」では、「個別手配」型が過半を占める。

図表9 旅行形態

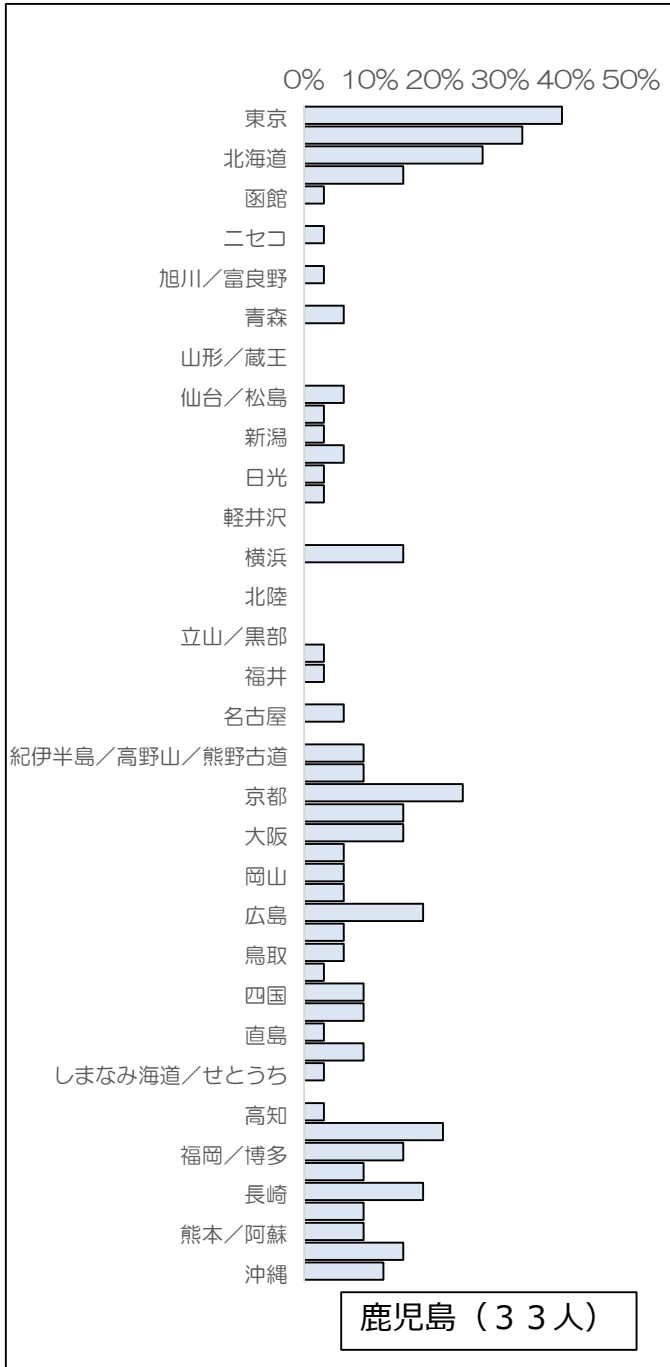


※「奄美」はサンプル数が少ないため参考値

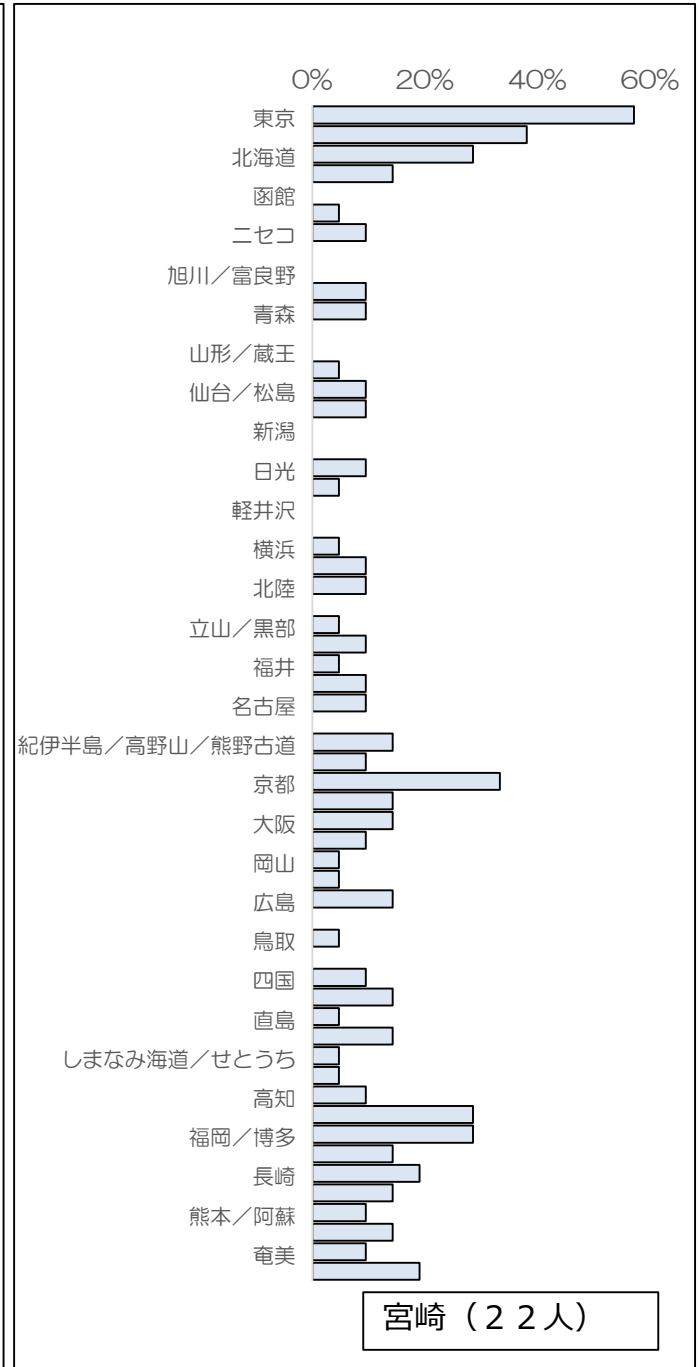
5. その他（周遊ルート）

- 直近の訪日旅行で「鹿児島」、「宮崎」を訪れた外国人旅行者のうち、一緒に訪問した主な国内旅行地をみると、東京が突出して多く、次いで、富士山、北海道、関西、広島、九州が多い。
- 「鹿児島」、「宮崎」への往訪は、①全国周遊、②九州往訪の一環である場合が多い。
- なお、一定の外国人旅行者が、欧米豪で強みを有する広島から周遊していることは、今後の誘客にとり示唆となる。

図表10 鹿児島と一緒に往訪した観光地



図表11 宮崎と一緒に往訪した観光地





©Development Bank of Japan Inc.2019

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。

本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

(お問い合わせ先)

株式会社日本政策投資銀行 南九州支店 企画調査課
〒892-0842 鹿児島市千石町1番38号 TEL：099-226-2666